



様式第8号 (第5条関係)

令和7年2月17日

南相馬市議会議長

会派名 志政会
代表者氏名 岡崎 義典 (印)

調査研究実施計画書

1 期間 令和7年2月19日(水)

2 調査研究事項及び旅行先

① 講演会：教育による地方創生について考える
----- (旅行先：双葉郡大熊町) -----

② ----- (旅行先：-----) -----

③ ----- (旅行先：-----) -----

詳細は、別紙1のとおり

3 参加者 ① 岡崎 義典 ----- ② -----
③ ----- ④ -----
⑤ ----- ⑥ -----
⑦ ----- ⑧ -----

4 旅行行程 別紙2のとおり

別紙2

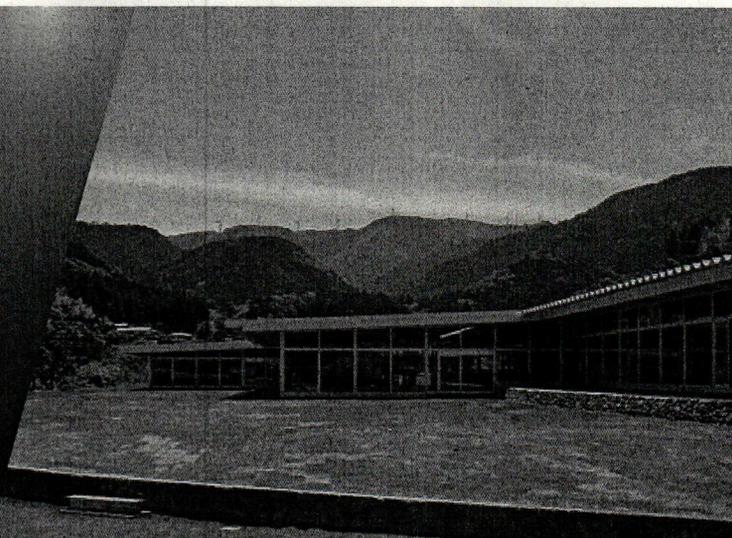
旅行行程

行程		宿泊地
1日目 2/19	14:30 南相馬市→大熊町	
	15:30 講演	
	17:30 終了 大熊町→南相馬市	
2日目 /		
3日目 /		
4日目 /		

教育による

地方創生

について考える



令和3年に新たな学校「大熊町立 学び舎 ゆめの森」ができ、大熊町への帰還、移住定住が進んでいる。学び舎ゆめの森は、0歳から15歳までの一貫教育の義務教育機関であるが、義務教育卒業後の後期中等教育については、受け皿となる高等学校が少なく、多様な進路選択ができないことへの不安の声が保護者から聞こえてくる。

そこで、神山まると高専の取組みを参考に、地域における新たな教育の必要性と、創造性や課題解決能力を持った人材を育てる教育のあり方を共有し、その実現に向けた具体的なヒントを提供してもらう機会とする。

神山まると高専とは

人口約5000人の小さな町、徳島県名西郡神山町では、様々な地方創生の取り組みを展開し、2023年4月には、国内では20年ぶりとなる高専（神山まると高専）が開校。デザインとテクノロジー、起業家精神を学ぶ独自カリキュラムや民間企業11社からの100億円規模の出資による学費の実質無償化など、多方面から注目を集める私立の高等専門学校です。

偶発性をデザインし、進化を続けてきた神山町の取組みをはじめ、「神山まると高専」の立ち上げについて、その活動の中心人物でもある大南信也さんにご講演いただきます。

大南さんが取り組んできた民間主導のまちづくり及び「神山まると高専」の新しい教育による町の変容についてお話しいたします。

日時

2/19 (水)
15:30 ▶ 17:30

スケジュール

15:00~15:30：受付
15:30~17:00：講演
17:00~17:30：質疑応答

開催場所

大熊町立学び舎ゆめの森

(〒979-1306 福島県双葉郡大熊町大川原南平2019-1)

参加費

無料

お申込み・お問い合わせ先

大熊町 生涯学習課
TEL：0240-23-7194
FAX：0240-23-7846

主催：大熊町 生涯学習課
ビジネスゲートウェイ株式会社
協力：大熊町立学び舎ゆめの森
(一社) Dream Forest Supporters

講師：大南信也氏

神山まると高専 発起人・アドバイザー
認定NPO法人グリーンバレー 前理事長

1953年徳島県名西郡神山町生まれ。米国スタンフォード大学大学院修了。2004年「日本の田舎をステキに変える！」をミッションに認定NPO法人グリーンバレー理事に就任。アーティスト・イン・レジデンスや神山塾、移住・起業支援やサテライトオフィス誘致などユニークな事業を展開。2023年4月に開校した学校法人神山学園（神山まると高専）の発起人で現在理事を務める。過疎地域に創造産業を起こす「創造的過疎」を持論に「せいかいのかみやま」づくりを進めている。

申込みはこちらの
QRコードからも！



